

国土交通省が掲げる生産性革命プロジェクトのひとつに「i-Construction」があります。これは、測量から設計、施工、検査、維持管理に至るすべての事業プロセスでICTを導入することにより、生産性向上を目指す取り組みです。そして、国土交通省では、ICTの全面的な活用、規格の標準化、施工時期の標準化を、主な施策として2016年度から推進しています。

今月号の特集では、鉄道構造物の建設技術に関する記事として、プレキャストコンクリート部材を活用した高架橋、コンクリート充填鋼管柱を活用した駅部高架橋、土と高分子材料によるさまざまな構造物、盤ぶくれが生じにくい山岳トンネルにつ

いて紹介するとともに、建築物と鉄道構造物の一体化に関する技術検討内容と法的解釈を紹介しました。いずれの技術も、鉄道構造物の生産性向上に資するものであり、鉄道総研ではこれからも鉄道建設現場の生産性向上につながる技術開発と実用化を推進していきます。

来月号の特集は「鉄道の将来に向けた研究開発」です。2015年度から2019年度までの基本計画「RESEARCH 2020」において実施された、鉄道の将来に向けたさまざまな研究開発について紹介します。どうぞご期待ください。(S. Y.)